

株式会社 アグリとくみつ

代表取締役社長 大岸 修一

石川県 白山市



PRポイント：きめ細かい栽培管理と技術の積極導入により大規模経営を実現！

設立年月：平成21年11月

構成員：22名

基幹作物：大麦 52.0ha (ファイバースノウ)
小麦 1.0ha (夏黄金)
水稲 44.3ha、大豆51.3ha



特徴：徹底した**排水対策**や、播種時の作業を丁寧に実施することで**初期生育を確保**する等、きめ細かい管理により大規模ほ場での生産性向上を実現。経営面では、**ブロックローテーションの体系**を工夫し、ドローンや自動操舵システム等の**スマート農業技術の活用**による作業の効率化により、収益性の確保に取り組む。

栽培のポイント

- 全圃場で溝切機（リターンデッチャ）による額縁明渠の設置とサブソイラーによる心土破碎作業（2～4m間隔）を稲刈り後早めに施工。降雨後に点検作業や、排水作業等を実施し、**排水対策に特に注力**している。
- 播種時は前作残渣のすき込み**を丁寧に行い、深耕に留意し、発芽率や初期生育の向上に努めている。
- 生育診断に基づき、越冬後の2～3月に追肥をドローンで散布。



経営のポイント

- 大規模ほ場で水稲・麦・大豆の2年3作体系に加えて、大豆の早生品種を取り入れた水稲・麦・大豆・麦・大豆の3年5作による**ブロックローテーション**を確立し、収益性を高める。
- ドローン**を活用した適期適量での防除、追肥や、**自動操舵システム**を活用した播種により、オペレーターの負担軽減や正確な播種等、作業効率を向上。



XAJ P100 pro

麦生産の課題

- 農地の酷使による地力低下が課題であるため、JAが定める**ガイドラインに基づいた土づくり資材の施用、適期播種・施肥を実施**することで品質・収量の安定化を図っている。
- 作付面積が大きくなるにつれて播種期間が長くなることから、生育ムラが出てしまったり、団地化調整から土質改善が困難な排水不良田が固定され、明渠・暗渠をしっかりと入れても**湿害が発生**してしまうエリアがある。

今後の展望

- 小麦「夏黄金」の令和7年産から1haの作付けを開始し、地元産小麦の需要の高まりから今後も継続して栽培し、**評価の高い産地化を目指したい**。（令和8年産も作付中）
- スマート農業技術には汎用性の高さを求めたい。各種作業データの可視化、共有化を取り入れていきたい。



JA松任管内のレストランで
JA松任産夏黄金を使用した
お菓子